

政策 01 みんなで支えあう健康のまちづくり

施策 06 地域福祉の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿  
ともに支えあい安心して暮らせる地域社会が形成されています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	住民同士で相互扶助ができている市民の割合（％） 【福祉政策課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R元)	(R02)	(R05)	基準値
		43	42.4	-	47	
評価	R2はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
		(比較不可)	(比較不可)	目 標 達 成 度	(---)	

指標	社会福祉協議会の会員数（人） 【福祉政策課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R元)	(R02)	(R05)	基準値
		2,746	2,633	2,594	2,800	
評価	(状況) 令和2年度の実績値は2,594人で、前年度より39人減少した。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、会員募集の依頼時期 が例年に比べて遅くなったこともあり、一般市民、法人ともに 継続会員が減少したと考えられる。					対 前年度
		(低下)	(低下)	目 標 達 成 度	(---)	

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 地域福祉活動の推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	地域福祉活動・ボランティアへの参加意識の高い市民の割合(%)	基準値(H30)	実績値(R元)	実績値(R02)	目標値(R05)	対基準値
	【福祉政策課】	54.2	56.1	-	67	(比較不可)
評価	R2はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対前年度
						(比較不可)
						目標達成度
						(---)

## 基本事業01 地域福祉活動の推進

指標	ボランティアセンター登録者数(人)	基準値(H30)	実績値(R元)	実績値(R02)	目標値(R05)	対基準値
	【福祉政策課】	2,091	1,985	1,963	2,800	(低下)
評価	(状況) 令和2年度の現状値は1,963人で、前年度より22人減少した。 (原因) ボランティアの高齢化に伴い会員の担い手不足からボランティア団体が3団体解散したこと、また、新型コロナウイルス感染症の影響により各種ボランティア養成講座を開催できず、新たなボランティア活動者を養成できなかったためと考えられる。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(---)

## 基本事業02 災害時要配慮者への支援

指標	近所に、災害時に助けが必要な人がいることを知っている市民の割合(%)	基準値(H30)	実績値(R元)	実績値(R02)	目標値(R05)	対基準値
	【福祉政策課】	16.2	16.4	-	25	(比較不可)
評価	R2はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対前年度
						(比較不可)
						目標達成度
						(---)

## 基本事業02 災害時要配慮者への支援

指標	避難行動要支援者台帳の延べ提供団体数(団体)	基準値(H30)	実績値(R元)	実績値(R02)	目標値(R05)	対基準値
	【福祉政策課】	48	49	50	52	(向上)
評価	(状況) 前年度の実績に比べ、実績値が1件増加した。 (原因) コロナ禍ではあるが、地域の団体に制度の周知が徐々に図られたためと考えられる。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(達成)

基本事業03 生活困窮者への支援

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	自立による保護廃止件数（世帯） 【福祉課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R元)	(R02)	(R05)	基準値
		7	6	6	10	(横ばい)
評価	(状況) 前年度実績と横ばいとなった。 (原因) 自立による保護廃止は、稼働能力の有無やその程度、生活保護受給者の就労意欲等や新型コロナウイルスの感染拡大による就職難の煽りを受けたと考えられる。					対
		前年度	(横ばい)	目標達成度	(---)	

基本事業03 生活困窮者への支援

指標	自立支援プログラムにより生活改善が図られた者の割合（％） 【福祉課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R元)	(R02)	(R05)	基準値
		100	40	20	50	(低下)
評価	(状況) 前年度の実績に比べ、現状値が20ポイント低下した。 (原因) 対象者の就労自立への意欲が低いことや新型コロナウイルスの感染拡大に伴う就職難による影響を受け、生活改善につながらなかったと考えられる。					対
		前年度	(低下)	目標達成度	(---)	